

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第23週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (23週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 8 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 1 例、百日咳 11 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	日南	30歳代	男	無症状病原体保有者	—
		高鍋	30歳代	女	肺結核	—
			50歳代	男	肺結核	—
			60歳代	女	肺結核	—
			60歳代	女	肺結核	—
			60歳代	女	無症状病原体保有者	—
			70歳代	女	肺結核	—
			80歳代	女	肺結核	—
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	延岡	70歳代	男	—	腹膜炎、菌血症
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	80歳代	男	—	発熱
	梅毒	都城	20歳代	男	無症状病原体保有者	—

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群			症状
				0~4歳	5~9歳	10歳代	
5類	百日咳	宮崎市	1例	1			持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタックアト、ウープ、嘔吐
		都城	2例	1		1	
		日南	1例			1	
		小林	1例			1	
		高鍋	6例		5	1	

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,001 人(定点当たり 28.9)で、前週比 101%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザと手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【ヘルパンギーナ】

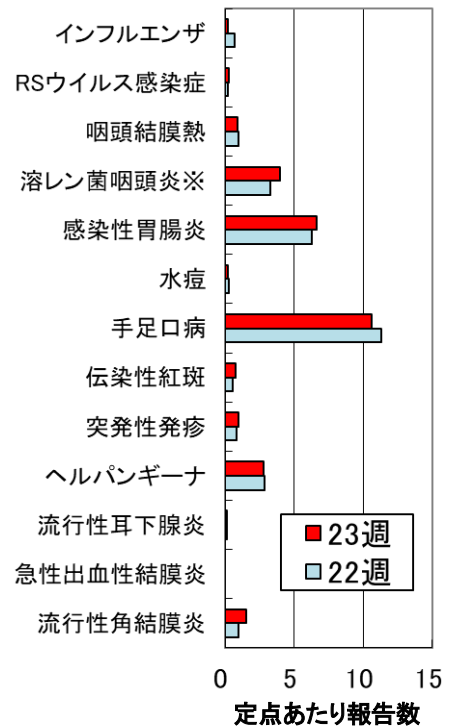
報告数は 101 人(2.8)で、前週比 99%とほぼ横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値*(1.2)の約 2.3 倍である。小林(7.0)、日向(4.0)、延岡(3.5)保健所からの報告が多く、年齢群別では 1 歳以下が全体の約 6 割を占めている。

【手足口病】

報告数は 381 人(10.6)で、前週比 94%と減少しており、例年同時期の定点当たり平均値*(4.5)の約 2.4 倍である。中央(27.0)、宮崎市(15.6)、日南(13.7)保健所からの報告が多く、年齢群別では 1~2 歳が全体の約 6 割を占めている。

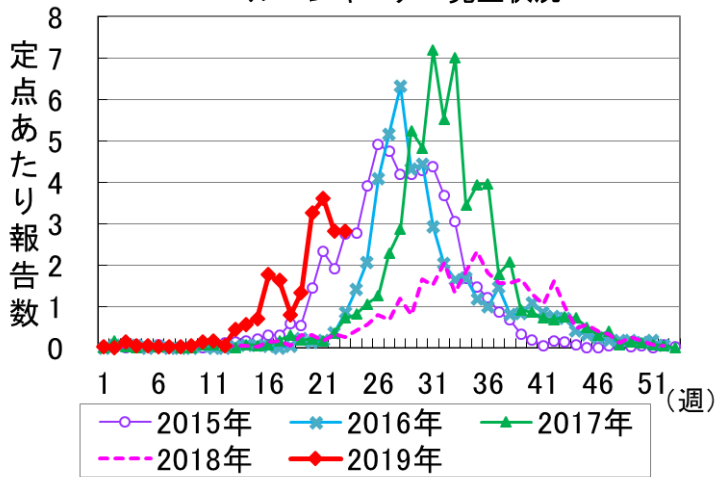
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

《前週との比較》

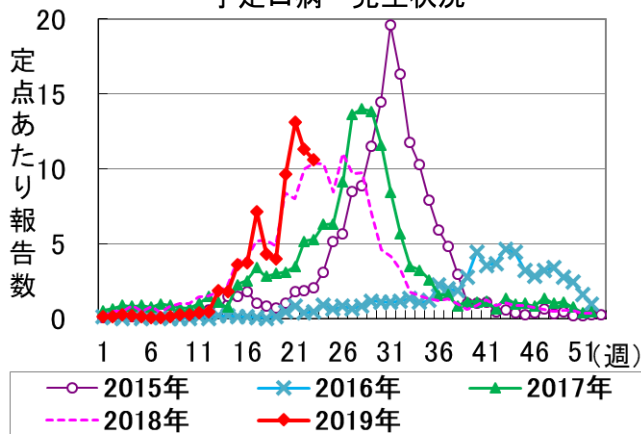


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

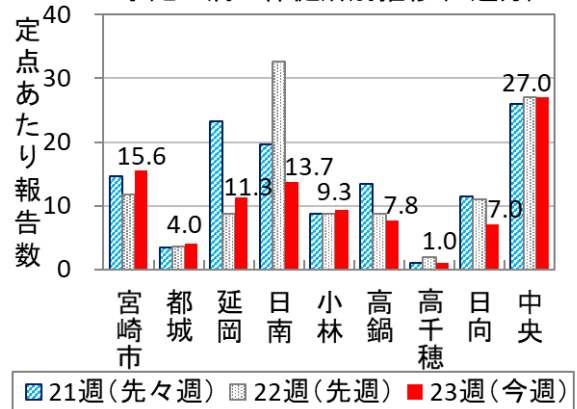
ヘルパンギーナ 発生状況



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(15.6)
都城	なし
延岡	手足口病(11.3)、伝染性紅斑(2.3)
日南	手足口病(13.7)
小林	手足口病(9.3)、ヘルパンギーナ(7.0)
高鍋	手足口病(7.8)
高千穂	なし
日向	手足口病(7.0)
中央	水痘(1.0)、手足口病(27.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・手足口病(5.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

＊流行注意報レベル基準値＊

- ・水痘(1.0)

🇯🇵 全国 2019 年第 22 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 22 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	342 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	50 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	14 例	A型肝炎	11 例	エキノコックス症	1 例
	オウム病	1 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	6 例
	デング熱	5 例	日本紅斑熱	2 例	レジオネラ症	43 例
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26 例
	急性弛緩性麻痺	3 例	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	16 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	44 例
	水痘（入院例）	6 例	梅毒	91 例	播種性クリプトコックス症	4 例
	破傷風	2 例	百日咳	223 例	風しん	30 例
	麻しん	24 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 101%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザと伝染性紅斑である。

手足口病の報告数は 6,201 人(2.0)で前週比 127%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (0.93) の約 2.1 倍である。鹿児島県(13.3)、宮崎県(11.3)、福岡県(7.8)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳が全体の約半数を占めている。

伝染性紅斑の報告数は 2,226 人(0.70)で前週比 85%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値* (0.35) の約 2.0 倍である。佐賀県、長野県、新潟県(各 1.4)からの報告が多く、年齢群別では 3~5 歳が全体の約半数を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第23週(06月03日～06月09日)

疾病名		第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	41	11		8			3				
	定点当り	0.69	0.19	0.00	0.80	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	8	9	2	3	1	2		1			
	定点当り	0.22	0.25	0.20	0.50	0.25	0.67	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	35	34	7	10	3	6		6		2	
	定点当り	0.97	0.94	0.70	1.67	0.75	2.00	0.00	1.50	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	117	143	33	27	28	18	10	20		4	3
	定点当り	3.25	3.97	3.30	4.50	7.00	6.00	3.33	5.00	0.00	1.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	225	238	42	52	10	32	28	7	12	49	6
	定点当り	6.25	6.61	4.20	8.67	2.50	10.67	9.33	1.75	12.00	12.25	6.00
水痘	報告数	9	7		4		1		1			1
	定点当り	0.25	0.19	0.00	0.67	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	407	381	156	24	45	41	28	31	1	28	27
	定点当り	11.31	10.58	15.60	4.00	11.25	13.67	9.33	7.75	1.00	7.00	27.00
伝染性紅斑	報告数	19	27	9	2	9	4	1			1	1
	定点当り	0.53	0.75	0.90	0.33	2.25	1.33	0.33	0.00	0.00	0.25	1.00
突発性発しん	報告数	30	36	14	8	10	1	1			2	
	定点当り	0.83	1.00	1.40	1.33	2.50	0.33	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	102	101	30	8	14	5	21	6		16	1
	定点当り	2.83	2.81	3.00	1.33	3.50	1.67	7.00	1.50	0.00	4.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	5		1			1			3	
	定点当り	0.11	0.14	0.00	0.17	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	9	7		2						
	定点当り	1.00	1.50	2.33	0.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2										
	定点当り	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～23週)

2類感染症	結核	87例(8)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	3例
	レジオネラ症	2例		
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例
	急性脳炎	1例	クリプトスポリジウム症	1例
	後天性免疫不全症候群	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	9例(1)
	破傷風	1例	百日咳	138例(11)
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	5例(1)
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8例
			梅毒	12例(1)
			麻しん	1例

()内は今週届出分、再掲